

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・中高生が多いので、狭く感じる。 ・学習スペース、プレイルームを分けたり 静かに過ごしたい児童の為にスペースを確保したりするなど、子どもの様子に合わせてできる範囲内で、必要に応じて環境を整えていきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・基準より多く配置している。送迎時間によっては手薄と感ずることもあるが、スタッフの位置に配慮し、工夫している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	・借家のため、バリアフリーではないが、要望があればできる限り、検討、工夫し 整えていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・経営指針書に基づき、行っている。 ・業務改善を行う際は、会議を開き、常勤、非常勤のスタッフ共に、参画できるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者向けアンケートを実施している。結果をもとに、必要に応じて、検討、改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページでの公開、保護者への配布を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・経営指針を作成する際に、関係機関にアンケートに協力いただいているが、回答数が少ないことが現状である。要望等があれば、改善に努めていきたいと思う。 ・第三者委員がいるが、評価には至っていない。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・毎月1回のスタッフ研修、隔月に顧問医師によるケース検討会議を行っている。他にも外部研修にも参加しているが、より積極的に機会を作っていきたい。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントの記入や面談を通して、子どもや保護者のニーズを聞き、計画を作成している。さらに次年度からは5領域とのつながりを明確にした計画を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・アセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・立案したプログラムの検討が十分ではない面がある。今後は、定期的なミーティングを実施し、立案、検討、実施、振り返りをよりしっかりと行っていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・恒例行事を大切にしながら、新しい活動を工夫したり、外部のイベントとのコラボも積極的に行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・曜日ごとにプログラムを組んだり、季節に応じた活動を取り入れたりしながら取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の特性を踏まえ、計画を作成している。今後は、5領域とのつながりも明確にした計画を作成していく。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日確認のミーティングを行っている。前日の振り返りの際の重要なことや、当日の子どもの様子(保護者からの連絡による情報)等も伝え、共有している。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日振り返りのミーティングを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎日振り返りのミーティング時に記録をとり、全スタッフが共有できるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年ごとにモニタリングを実施している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			・自立支援と日常生活の充実のための活動や創作活動、余暇活動などを組み合わせている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・管理者、または児童発達支援管理責任者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・毎週末にもらう予定表や年間計画で確認し、適宜連絡や情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在の受け入れはなし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・保育所等を見学させていただき、様子を見たり、サービス担当者会議で情報共有をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・3月に行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・こころの医療センターの東海林医師に、隔月でケース検討会を行っていただいている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・ソライでのイベントや夢ケーキ作り、無印良品感謝祭等の参加など、交流する機会が増えたが、今後も外部との活動への参加や自社の活動への招待など、機会を広げていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		・開催に合わせて、検討、参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡ノートやLINE、電話等で情報を共有し、共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・必要に応じて保護者の話を聞くようにしている。 ・ペアレントトレーニング等の保護者支援は、保護者負担になる場合もあることを考慮して行っていない。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明し、同意をいただいている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談等があれば、いつでもご連絡いただき対応できるようにしている。傾聴し、情報を共有するなどしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・保護者の方が参加できるイベントを実施している。今後は、より保護者同士の連携が図れるよう、保護者会の開催も計画していきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情があった場合には、話し合い、対応の整備や改善に努めていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・おたよりやSNS、週刊にじニュースで発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・鍵のかかるところに保管している。 ・個人情報の取り扱いについて、スタッフ間で共有し、十分配慮、注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・LINEで伝えたり、視覚的に伝える工夫や配慮をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・鼠ヶ関のバリアフリービーチでの活動、ライオンズクラブとの交流、大山ポデー川尻モーターズさんへの缶バッジ納入などの活動をしている。 ・ファミリーホームとの交流(夢ケーキ作り、夏祭り、芋煮会など)を行っている。今後は、さらに地域の中で様々な交流ができるように計画していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・マニュアルを作成している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的に避難訓練を行っている。心肺蘇生やAEDの訓練等も、必要に応じて実施していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・委員会を中心にスタッフ研修で取り上げ、全スタッフが共通理解をし、対応できるように努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・指針を作成した。原則的には、身体拘束は行わないが、やむを得ず行う場合があることに関しては、重要事項説明書に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者より医師の指示を聞き、キッチンなどスタッフのみが目にする場所に一覧表を掲示し、対応している。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・毎日の振り返りのミーティングで出し合い、対策を検討し日誌に記録している が、事例集としてはまとめていない。
--	----	----------------------------	--	---	--	--